

平成 22 年 ふれあい座談会

| | |
|---|---|
| テ ー マ | 大井総合支所の再整備について |
| 日 時 | 平成 22 年 11 月 23 日(祝)・午前 10 時～ 11 時 37 分 |
| 場 所 | 大井総合支所第 2 庁舎第 1・2 会議室 |
| 参 加 者 | 16 名 |
| 市 | 市長、副市長、総合政策部長、秘書広報課長 |
| (市長あいさつ・市長説明 省略) 以下は主な質疑です。 | |
| <p>参加者:施設に片寄りがあると市民生活はやりづらい。自転車で行ける距離の施設が良い。移動図書館も良いのでは。サービスを低下させずにコスト削減するのは難しいだろうが、消防本部が来ることを議員が賛成しているから住民が納得していると思うのは間違い。</p> <p>市 長:市民すべての代表が議員とは思っていませんが、市民目線で判断したいと思います。消防組合は 10 月 15 日頃までに返事がほしいということでしたが、ギリギリの時間の中で決めなければなりません。</p> <p>参加者:子育ての上で児童センターができるのは良いと思うが、現実の保育所の問題として、財政難で民営化の話がある。消防の関係で臨時に収入があるなら児童センターの話より、無事に預けられる環境として保育所の方にお金を充ててはどうか。</p> <p>市 長:無認可保育所にも補助をして公立と同じぐらいで利用できる様にしています。保育所の民営化は国の方針もあります。所得に応じた保育料ですが、1 人あたり年間二百万円近くかかり、利用していない人の税金も投入しています。子育て支援を推進したいが、国の子ども手当でも地方負担があり、優先順位を付けなければなりません。障がい者、お年寄りからも要望があります。</p> <p>参加者:施設拡充よりも三角小学校などの大規模改修を優先すべきではないか。支所はプレハブでも良いと思う。プールもチケットだと水上公園では親がついて行かなくてはならないので、3 校に 1 校くらいは学校プールを開放できないか。プール跡地に庁舎を建設しても良いのでは。</p> <p>市 長:学校の大規模改修の計画は見直しており、三角小学校は早くにやらなければと思っています。東台小学校は 40 億円以上かけて新設しましたが、国の補助があるので 30 年以上用途変更ができません。生徒も減少しているのに、新設して良かったのか疑問です。</p> | |

また、大井プールの土地は、市有地と民地があって複雑な権利形態です。学校のプール開放は、今年の夏に実施したかったですが、プール事故以来、職員も慎重になっているので十分な安全策をとって来年度から実施したいと思います。

参加者：ヤマハの跡地は消防本部として検討しないのか。

市 長：ヤマハは3年かけて撤退するので時間的に間に合いません。公共ゾーンの中ということで、消防から提案が来たと思っています。市役所と消防が一体の所はかなりあります。

参加者：子どもが自由に利用できる児童館が欲しい。文京学院の大学生も一緒に文化活動などができるよう、民間活力を導入してはどうか。

市 長：東側にはフクトピア内に児童センターがあるので、西側地域にも必要と思っています。